

令和5年度
事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

一般財団法人 草間彌生記念芸術財団

東京都新宿区弁天町 109

I. 事業報告

○事業の主旨

草間彌生美術館は前衛芸術家・草間彌生が設立し運営している。草間作品および関係資料の展示を通じて草間芸術の普及振興を図り、芸術全般の発展に寄与することを目的とし諸事業を展開している。

年に2回程度、収蔵作品（収蔵予定作品を含む）による展覧会を開催しているが、今年度も講演会・ギャラリートーク・こどもワークショップなどのプログラムはオンライン上で実施した。草間が作品を通じて繰り返し訴えてきた、世界平和と人間愛というメッセージを広く世界へ伝え、多くの方々に現代美術に慣れ親しんでいただく美術館として持続的な運営をめざし活動している。

○施設の概要

平成29年（2017年）10月に開館した当館は、地上5階（展示ギャラリー、ブラウジングスペース、ショップ）、地下2階（収蔵庫）。建築面積129㎡、延床面積727㎡で、階段またはエレベーターで1階から順番に上の階へあがり展示ギャラリースペースへ進み、下りはすべてエレベーターを使用としている。

美術館から徒歩1分の至近距離に事務局を設け、美術館とは密接な連携がとれる環境となっている。

1. 展覧会

今年度の常設企画展は、第11回展を2023年4月～9月、第12回展を2023年11月～2024年3月に開催した。一回の収容定員は70名、その結果、今年度における開館日数は計162日、来館者数62,333名、1日平均約385名となった。

美術館開館日は通常、木・金・土・日曜および国民の祝日で、入場は1日6回転（1回70名）、開館時間は11時から17時半まで。美術館敷地内に入場待機列をつくるスペースなどの余剰が少ないため、混雑緩和と近隣地域への配慮から事前予約制をとり、チケットは美術館の公式ウェブサイトのみで販売し、残数があれば入館時間の30分前まで購入可能となっている。今年度は訪日客もほぼ通常通りに戻ったこともあり、約6割以上が海外からの来館者となった。

展覧会は、当館学芸課が企画し、作品選定、借用依頼、運搬、会場構成、展示、作品リスト・図録の作成などすべてを執り行った。出品作品は絵画、ドローイング、立体作品、インスタレーション、資料など多岐に渡り紹介し、鑑賞を楽しみながら制作の背景や美術史上の意義の理解ができるような展示を心掛けた。これまで通りバイリンガル表記の作品リスト、図録とし、ウェブサイトもバイリンガル対応としている。美術館の広

報手段のひとつである公式インスタグラムアカウントでは展覧会の様子や出品作品、教育普及イベントの情報などを随時バイリンガルにて発信した。

また、外部業者へ委託し、館内監視、来館者の受付対応、チケット販売、館内清掃などを行い、美術館の鑑賞環境の向上に協力を得た。

教育普及活動において、例年通り当館スタッフによるオンラインギャラリートークを実施し、展覧会の概要や作品解説、制作の背景などを日英で配信した。こども向けワークショップは、事前応募制にて対面とオンラインで開催した。美術館で行う対面型のワークショップは、新型コロナウイルス感染症により休止していたため、2020年1月以来、約4年ぶりの実施となった。また、小学生の団体を受け入れるスクールプログラムのほか、希望する小学校の先生へ教育ツールを提供する新たなプログラム「KUSAMA LEARNING」を開始した。さらに、障がい者対象のプログラムを開発するために近隣の障がい者施設と相談・連携し、休館日に貸切で美術鑑賞プログラムのトライアルを行った。教育普及プログラムの運営サポートには、ボランティアの協力を得て、より充実したプログラムを提供するための事前ミーティングや振り返りミーティングも定期的に行った。

展覧会ごとに図録を制作、美術館のショップで販売している。発行は一般財団法人草間彌生記念芸術財団で日英バイリンガル・A4変型ハードカバーの体裁。

○第11回展覧会企画

「草間彌生の自己消滅、あるいはサイケデリックな世界」概要

タイトル 「草間彌生の自己消滅、あるいはサイケデリックな世界」

会 期 2023年4月29日（土・祝）～9月18日（月・祝）

プレスレビュー 2023年4月28日（金）14:00～16:00

開催日数 85日間

入場時間 ①11:00 ②12:00 ③13:00 ④14:00 ⑤15:00 ⑥16:00

11:00から各90分枠の6回転制、2か月前の1日から美術館ウェブサイトのみでチケットを販売。（4月・5月分のチケットのみ3月29日より販売）事前予約・定員70名。当日の入館時間の30分前までチケット購入が可能。

観覧料 一般 1,100円 小中学生 600円 （税込）

※未就学児は無料。団体割引の設定はなし。

入場者数 32,928名

1日平均 387名

図録 A4変型 56ページ・ハードカバー・日英バイリンガル

チラシ A4

出品点数 54点

企画趣旨 草間彌生は、単一モチーフの強迫的な反復と増殖から生じる、自他の境目が消えていくような感覚を“自己消滅”と呼び、さまざまな制作手法で表現している。幼い頃の幻覚に由来するこの実践は、創作を始めた当初から作家個人のテーマである一方、反復の制作原理や、鏡の反射と光の明滅などによって、観るものを恍惚とさせる作品表現には、1960年代後半に草間が拠点としていたアメリカを席卷したサイケデリック・ムーヴメントを特徴づけた、幻覚剤がもたらす知覚の変容を追体験させるような視覚効果と重なり合うものがある。草間彌生の創作活動の核にあり続ける独自の芸術哲学「自己消滅」の作品世界にみられるサイケデリック性に着目し、60年代後半に草間が拠点としていたアメリカを席卷したサイケデリック・ムーヴメントと同時代の草間の活動をご紹介しますほか、渡米前の故郷・松本時代のドローイング、さまざまな豊かな創作のヴァリエーションを展覧。

出品リスト

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	寸法（縦×横）	所蔵（記載の無いものは草間彌生美術館所蔵予定）
1	平和への願望はひとつ ひとつ輝くばかり	草間彌生	2023	ミクストメディア	220 × 214 × 185 cm	
2	草間の自己消滅	草間彌生 (監督：草間彌生 撮影・編集：ジャ ド・ヤルカット)	1967	16mm フィルム カラー、サウンド	23分 33秒	
3	アートプログラム KPI オランダ音響・映像研 究所	草間彌生	VPRO 初回放 送日： 1967年 11月 16日	オランダのテレビ番組 16mm フィルム モノクロ、サウンド	3分 31秒	©VPRO
4	フラワー・オージー	草間彌生	1968	16mm フィルム カラー、サイレント	1分 44秒	
5	自己消滅 #1	草間彌生	1967	水彩、ペン、パステル、 フォトコラージュ・紙	40.4 × 50.4 cm	
6	自己消滅 #2	草間彌生	1967	水彩、ペン、パステル、	40.4 × 50.4 cm	

				フォトコラージュ・紙		
7	自己消滅 #3	草間彌生	1967	水彩、ペン、パステル、 フォトコラージュ・紙	40.4×50.4 cm	
8	自己消滅 #4	草間彌生	1967	水彩、ペン、パステル、 フォトコラージュ・紙	40.4×50.4 cm	
9	自己消滅	草間彌生 Photograph: Harrie Verstappen	1967	インク・写真	18.2×24 cm	
10	自己消滅（「網強迫」シリーズ）	草間彌生	c.1966	フォトコラージュ・紙	20.3×25.4 cm	
11	No. N2	草間彌生	1961	油彩・キャンバス	125×178 cm	個人蔵 （草間彌生美術館 寄託）
12	スーツケース	草間彌生	1966	塗料・スーツケース	46×70×19 cm	埼玉県 立近代美術館蔵
13	無題	草間彌生	1965- 66	ミクストメディア	177×71×39 cm	高橋龍 太郎コレ クション 蔵
14	鳥(No. 41)	草間彌生	1953	グワッシュ、パステル・ 紙	23.5×31 cm	
15	昼の燐光	草間彌生	c.1950	インク・パステル、紙	25.2×17.5 cm	
16	発芽	草間彌生	1952	インク、パステル・紙	24.7×18 cm	
17	Leaves	草間彌生	1954	グワッシュ、インク・紙	20.1×27.3 cm	
18	地中海	草間彌生	1978	エナメル・色紙	27.2×24.2 cm	
19	逆まく波	草間彌生	1978	エナメル・色紙	27.2×24.2 cm	
20	夕陽のイースト・リヴァー	草間彌生	1991	エナメル・色紙	27.2×24.3 cm	
21	花片	草間彌生	1991	エナメル・色紙	27.2×24.3 cm	
22	夏の初まり	草間彌生	1978	コラージュ、グワッシュ ・紙	54.3×39.7 cm	
23	初夏	草間彌生	1989	アクリル・キャンバス	38×45.5 cm	
24	毒キノコ	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
25	天上よりの啓示(B)	草間彌生	1993	アクリル・キャンバス	194×390.9 cm	
26	生命のかがやき	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	53×65.2 cm	
27	新世紀へのあこがれ	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
28	蝶の里	草間彌生	1986	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	

29	大地の精	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
30	マンハッタンから見上げた星	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
31	銀河系	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
32	地に落ちた星屑	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
33	安曇野をゆく	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
34	蟲の巣	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	53×45.5 cm	
35	祭典	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
36	わが足跡	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
37	幻の青春	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	53×45.5 cm	
38	離人カーテンの囚人	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
39	生命への賛歌	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	45.5×38 cm	
40	都の雨	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	45.5×38 cm	
41	生命の過程	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
42	波紋	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	38×45.5 cm	
43	花束を捧ぐ	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	45.5×38 cm	
44	星は降る	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	45.5×38 cm	
45	太平洋の波	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
46	太陽のネックレス	草間彌生	1987	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
47	蟲の愛	草間彌生	1988	アクリル・キャンバス	53×45.5 cm	
48	永劫回帰	草間彌生	1988-91	ミクストメディア	46 boxes (30.5×30.5×30.5-90×55×55 cm)	W Collection (広島市現代美術館寄託)
49	I'm Here, but Nothing	草間彌生	2000/2022	蛍光ステッカー、ブラックライト、家具、日用品	サイズ可変	
50	マンハッタン自殺未遂常習犯	草間彌生	初版出版(工舎): 1978			
51	草間彌生による自己消滅パフォーマンスの記録 会場: ビデオギャラリー SCAN、東京	草間彌生 (企画: 瀬島久美子 制作: ビデオギャラリー SCAN)	1983	ビデオ、カラー、サウンド	26分37秒	ビデオギャラリー SCAN

52	草間の部屋	草間彌生	1999	ビデオ、カラー、サウンド	1分8秒	
53	花強迫（ガーベラ）	草間彌生	1999	ビデオ、カラー、サイレント	1分21秒	
54	真夜中に咲く花	草間彌生	2010	F.R.P.、ウレタン塗料、鉄	190×244×122 cm	

○関連企画

講演会

日時：9月2日（土）15:30～17:00

講師：前山裕司（新潟市美術館・特任館長）

参加者数：38名

場所：新宿区立漱石山房記念館 講座室

ギャラリートーク

当館学芸員によるオンライン上でのギャラリートークを1回、当館公式Instagramアカウント（@yayoikusamamuseum）のコンテンツとして配信。

展覧会図録制作

発行：2023年4月/一般財団法人草間彌生記念芸術財団

体裁：規格外 A4 変型ハードカバー・56P・日英バイリンガル

価格：2,200円



○第12回展覧会企画

「幻の色」概要

タイトル 「幻の色」

会 期 2023年11月9日（木）～2024年3月24日（日）

プレスレビュー 2023年11月8日(水) 14:00~15:30

開催日数 77日間

入場時間 ①11:00 ②12:00 ③13:00 ④14:00 ⑤15:00 ⑥16:00

11:00 から各90分枠の6回転制、2か月前の1日から美術館ウェブサイトのみでチケットを販売。(11月分のチケットのみ10月1日から販売)

事前予約・定員70名

当日の入館時間の30分前までチケット購入が可能。

観覧料 一般 1,100円 小中学生 600円 (税込)

※未就学児は無料。団体割引の設定はなし。

入場者数 29,405名

1日平均 381名

図録 A4変型56ページ・ハードカバー・日英バイリンガル

チラシ A4

出品点数 68点

企画趣旨 近年の草間彌生の絵画では、森羅万象を象る描線に銅色に水色など色彩の多様なコントラストの組み合わせが試みられ、その新鮮な表現は見る者を驚かせる。本展では、初期から現在に至るまでの代表的なシリーズを展覧し、草間の画業における特徴的な色彩表現の変遷を辿る。初期の暗くも夢幻的な色彩、渡米後の禁欲的な配色、さらに70年代には詩情豊かな色彩。その後、色彩表現が進化し、立体作品やインスタレーション作品ではその効果が増幅された。最近の作品では、楽観的な色彩の絵画と自殺を思わせる黒を多用した作品が混在し、草間の内面世界の多様な色彩表現がみられる。

出品リスト

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)	所蔵 (記載の無いものは草間彌生美術館所蔵予定)
1	塔	草間彌生	1998	24点組、詰め物入り縫製布、木、ペイント	350×150×150 cm	
2	魂を燃やす閃光 (A.B.Q)	草間彌生	1988	アクリル、キャンバス	194×520 cm	
3	残夢	草間彌生	1949	岩彩・紙	136.5×151.7 cm	

4	残骸	草間彌生	1950	油彩・キャンバス	61×72.7 cm	
5	Self Portrait	草間彌生	1952	グワッシュ、パステル、クレヨン・紙	28×20.4 cm	
6	植物の茎	草間彌生	1952	インク、水彩・紙	25×18 cm	
7	花の芽	草間彌生	1952	パステル、水彩・紙	27×18.7 cm	
8	FLOWER	草間彌生	1952	インク、パステル・紙	26.4×18.7 cm	
9	WALL SPIRIT	草間彌生	1954	グワッシュ、インク・紙	20.3×27.5 cm	
10	風神	草間彌生	1955	油彩・キャンバス	51.5×64 cm	
11	無限の網 (1)	草間彌生	1958	油彩・キャンバス	125.3×91 cm	
12	希死	草間彌生	1975-1976	詰め物入り縫製布、キッチンツール、金属トレイ、エナメル塗料	10点組、サイズ可変	
13	氷河の裂け目をゆく	草間彌生	1975	コラージュ、パステル、インク、布・紙	39.6×54.5 cm	
14	緑の水玉の音をきく	草間彌生	1975	コラージュ、パステル、インク、布・紙	54.3×38.4 cm	
15	緑陰の奥にこいて	草間彌生	1975	コラージュ、グワッシュ、パステル、インク、布・紙	54.5×39.5 cm	
16	鳥の拾った胡瓜	草間彌生	1975	コラージュ、パステル、インク、布・紙	39.5×54.5 cm	
17	新緑の湖に立ちて	草間彌生	1978	エナメル・色紙	27.2×24.2 cm	
18	湘南の海	草間彌生	1978	エナメル、インク・色紙	27.2×24.2 cm	
19	浮雲の彼方	草間彌生	1978	エナメル・色紙	27.2×24.2 cm	
20	帽子に夏来たる	草間彌生	1979	グワッシュ、パステル・紙	50.4×64.3 cm	
21	春宵	草間彌生	1979	グワッシュ、パステル・紙	52.4×66 cm	
22	INFINITY-NETS (W.W.T.)	草間彌生	1999	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
23	NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
24	無限の網	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	31.8×41 cm	
25	Nets	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	41×31.8 cm	
26	INFINITY-NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
27	無限の網	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	45.5×38 cm	

28	Infinity Nets (A.T.W.O)	草間彌生	1998	アクリル・キャンバス	38×45.5 cm	
29	Nets	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	38×45.5 cm	
30	Nets/INFINITY NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
31	無限の網	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	91×72.7 cm	
32	Nets	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	91×72.7 cm	
33	INFINITY-NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
34	NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
35	無限の網	草間彌生	1998	アクリル・キャンバス	15.8×22.7 cm	
36	INFINITY-NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	65.2×53 cm	
37	INFINITY-NETS	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	53×65.2 cm	
38	Nets	草間彌生	1997	アクリル・キャンバス	38×45.5 cm	
39	毎日愛について祈っている	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	72.7×91 cm	
40	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	60.6×60.6 cm	
41	きみは死して今 魂はふよ うの雲の上を 虹の光の粉にま みれて とはに消えてさりぬ されど君とわれは にくしみ と愛のはてなくはてに ふた たびめぐり会うこともなくわ かれぬ ユウヤケの雲のかな たは 音もなくしずまりぬ ムカシより生きてきた 花の すがた 美しいネ	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	72.7×91 cm	
42	毎日愛について祈っている	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
43	これは愛のおどりですよ 黒 いやみの中で心のかぎりおど りあっているまものよ 何と いう美しい広い大宇の中での 星の精たちのまう姿の美しさ 私の愛する夜の空の幻の世界 だ 私の心は私-幻想の中にま い上がったのだ！ 私たちは この美しい幻想の世界を一生	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	72.7×91 cm	

	がい忘れることはできないほど美しいのだ 神様が私にこの美しさをみせて下さった おお宴のダンスだよ！ なんと美しいな これが幻かな この美しい空のつくった形はまぼろしだなー！					
44	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	60.6×60.6 cm	
45	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	60.6×50 cm	
46	父母 君は死していま 父母の心は虹の光の粉にまみれてとはにきえてさりぬ！ わが父母よとわに消えりぬ 父母にふたたびめぐりあうこともなくて わかれぬ 我が愛する父母は死んだ 死んだ 父母に又あいたい	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	45.5×53 cm	
47	毎日愛について祈っている	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	45.5×53cm	
48	毎日愛について祈っている	草間彌生	2023	アクリル、マーカーペン・キャンバス	60.6×50 cm	
49	毎日愛について祈っている	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	100×100 cm	
50	毎日愛について祈っている	草間彌生	2023	アクリル、マーカーペン・キャンバス	53×45.5 cm	
51	毎日愛について祈っている	草間彌生	2023	アクリル、マーカーペン・キャンバス	53×65.2 cm	
52	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル、マーカーペン・キャンバス	100×100 cm	
53	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	53×45.5 cm	
54	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	53×45.5cm	
55	ヒトミ 私の青春時代にみいだした 人々の人々のひとみのこの美しさ これが人々の本当のいとしの心！ LOVE	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	72.7×91 cm	
56	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル・キャンバス	80.3×65.2 cm	

57	毎日愛について祈っている	草間彌生	2022	アクリル、マーカー ペン・キャンバス	72.7×91 cm	
58	君は死していま なき人にこの詩をささぐのだ私は！ われこそつらいのだ 愛よかえってね 私はのぞむのよ 君は死していま 魂はふよの雲のうえを 虹の光のこなにまみれて とわにきえてさりぬ されど君とわれは にくしみと愛のはてなきはてに再びめぐりあうこともなくわかれぬ 愛の日々よかえれ私の心にききたいのよ	草間彌生	2021	アクリル・キャンバス	72.7×91 cm	
59	空の一隅	草間彌生	2016	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
60	人間の一生	草間彌生	2014	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
61	落魄の墳墓、そして私の心の貧しさだけが全身を支配しているのだ	草間彌生	2017	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
62	宇宙に行きたい	草間彌生	2013	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
63	宇宙へ行った感動の瞬間	草間彌生	2017	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
64	自殺未遂の日	草間彌生	2014	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
65	心から生命の賛美をうたい上げたい	草間彌生	2009	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
66	神の姿	草間彌生	2015	アクリル・キャンバス	194×194 cm	
67	I'm Here, but Nothing	草間彌生	2000/2022	蛍光ステッカー、ブラックライト、家具、日用品	サイズ可変	
68	真夜中に咲く花	草間彌生	2010	F.R.P.、ウレタン塗料、鉄	190×244×122 cm	

○関連企画

講演会

なし

ギャラリートーク

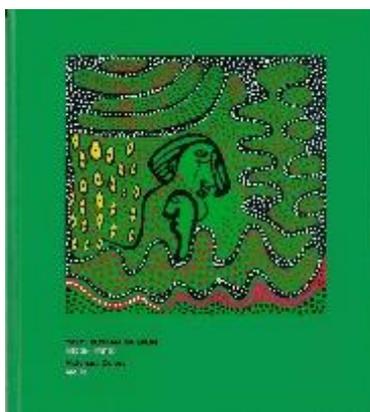
当館学芸員によるオンライン上でのギャラリートークを2回、当館公式Instagramアカウント (@yayoikusamamuseum) のコンテンツとして配信。また、これまで日本語音声・英語字幕で出していたが、初めて英語音声でも配信を試みた。

展覧会図録制作

発行：2023年11月/一般財団法人草間彌生記念芸術財団

体裁：規格外A4変型ハードカバー・56P・日英バイリンガル

価格：2,200円



2. 教育・普及活動

当館では現代美術の普及と理解の促進のため、幅広い年齢層に向けた教育普及プログラムを提供している。展示作品への関心を深め、鑑賞後の印象や感想を家族や知人と交換する機会を提供し、草間作品を通して現代美術をより身近に体験してもらうことを目指したプログラムの推進に積極的に取り組んできた。オンラインプログラムは引き続き実施しながら、対面型のイベントも再開した。

未就学児のいる家族を対象にしたプログラム「おやこで美術館」、小学校や保育園から実施希望があった「スクールプログラム」は例年通り行った。また、今年度から新たにツールを開発・提供したプログラム「KUSAMA LEARNING」や、近隣施設と連携し初めて実施を試みた障がい者向けの鑑賞プログラムなどの教育普及活動の運営は、学生を中心に約10名のボランティアスタッフの協力を得た。

[美術館たんけんワークシート]

来館する子ども向けの鑑賞ツールとして、子どもたちが作品の細部など様々な要素に注目し、作品を見ながら物語を想像できるよう、出展作品の理解と楽しい時間を過ごすことを目的に、展覧会ごとに作成し来館者（希望者）へ配布した。

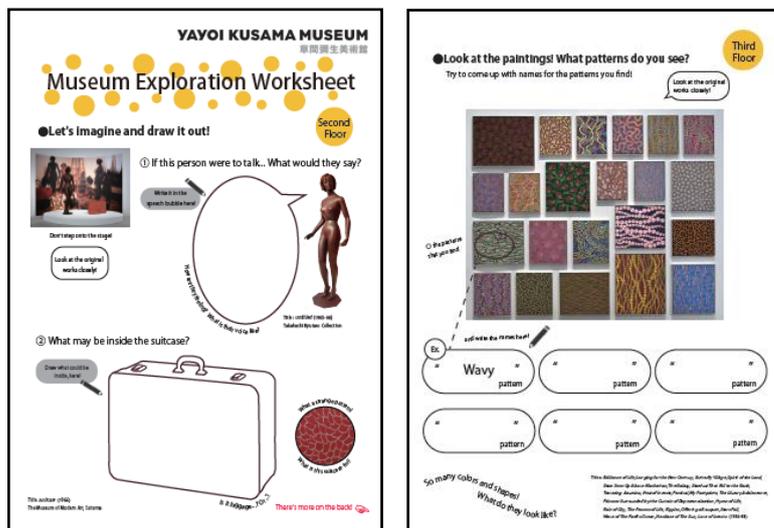
対象：小学生以下

用具：ワークシートと鉛筆、クリップボードのセット

配布数：第11回展 日本語28名/英語21名（85日間）

第12回展 日本語25名/英語15名（77日間）

・ 11回展ワークシート（英語版）



・ 12回展ワークシート（日本語版）



[こどもワークショップ]

対面/オンライン型を各1回実施。対面型の参加者は小学生低学年3名、オンライン型は小学生7名で、展覧会の作品の一部を鑑賞し、それに合ったテーマで創作を行い、約1時間のプログラム1回ずつ実施した。対面型ではインスタレーション作品を鑑賞し、作品の一部を用いて創作活動を行ったところ、作品のコンセプトを理解しながら楽しんでいたように感じられた。告知は当館ウェブサイト、公式インスタグラムを通じて実施した。オンラインでは事前にメールで保護者の方へ創作のためのお絵かきシート（PDFデータ）の出力と材料の準備を依頼した。11回展は都合によりワークショップの開催はなし。

・12回展ワークショップ

<対面型>プログラム名：「お部屋の作品に入って、水玉のひとつになってみよう！」
体験型インスタレーション作品《I'm Here, but Nothing》を鑑賞し、発見や気づき、感じたことを共有した後で参加者自身にも同じ水玉を貼ってみて、再度部屋に入っ
てどう見えるか、感じるかなど感想を発表した。

<オンライン型>プログラム名：「見つけてみよう！ぼく・わたしの『幻の色』」
「わが永遠の魂」シリーズから《神の姿》を取り上げ、思ったことを自由に話し合い
ながら鑑賞した後、準備したワークシートを各自がイメージする形で切り抜き、好き
な色の組み合わせを意識しながらオリジナルの作品を制作した。

実施日	時間	参加人数
2024年 2月25日（日）	60分	小学校1～3年生（3名）
3月 3日（日）	60分	小学校1～6年生（7名）
計 2回		10名



<対面型> 創作後の様子

《I'm Here, but Nothing》(2000/2020年)



<オンライン型> 創作物品

[おやこで美術館]

未就学の子どもがいる家族を対象にした鑑賞プログラムを、計4回開催した。
参加者から他の来館者の目を気にせず美術館に子どもを連れてくる事が出来るという
評判で毎回応募数も多く、規模は小さいが今年度も継続。運営サポートのボランティア
スタッフとは事前に綿密な打ち合わせを行った。展覧会のテーマに沿って、壁一面に絵
画が展示された3Fギャラリーでさまざまなモチーフを探し、立体作品のある1F・5Fでは
作品に配慮し立体作品のぬりえを実施し、会話しながら鑑賞できるよう、ボランティア
や美術館スタッフから質問を投げかけて、全員それぞれの発見や気づきなどコメントし
た。

・11回展 おやこで美術館

実施日	時間	参加人数
2023年 8月6日 (日)	60分	子ども (4名) 保護者 (5名)
8月19日 (土)	60分	子ども (2名) 保護者 (2名)
計 2回		子ども 6名 保護者 7名



参加者の様子

・12回展 おやこで美術館

実施日	時間	参加者人数
2024年 1月21日 (日)	60分	子ども (3名) 保護者 (4名)
2月3日 (土)	60分	子ども (3名) 保護者 (5名)
計 2回		子ども (6名) 保護者 (9名)



参加者の様子

[スクールプログラム]

今年度はスクールプログラムを小学生対象に3回、未就学児対象に1回実施した。小学生は、10名前後に分けたグループごとにボランティアスタッフが引率して鑑賞のサポートを行った。初めて取り組んだ未就学児の受け入れには当館スタッフが作品解説や質問の受け答えをしながら、全員で各階を鑑賞した。

時期：2023年9月6日（水）

10:00-11:00

学校名：戸塚第三小学校

参加者：小学生3年生35名+教員3名



時期：2023年12月6日（水）

9:30-12:30

学校名：早稲田小学校

参加者：小学5年生97名+教員5名



時期：2024年1月10日（水）

10:30-11:30

学校名：ディスカバリーキッズ祐天寺

参加者：幼稚園年少～年長14名+教員3名



時期：2024年3月6日（水）

10:00-12:00

学校名：新宿区立戸塚第二小学校

参加者：6年生52名+教員4名



新 [KUSAMA LEARNING 小学生に現代アートを。「草間さんの作品を見てみよう!」]

展覧会の風景をダイジェストにまとめた動画をつくり、小学生向けのパンフレット「こどもガイド」(2種)とセットにして、希望する小学校の先生へ配布するという新しい取り組み。先生と小学生がそのツールを活用し、話し合ったり、絵を描いたり、授業を通じて芸術家・草間彌生を知り、作品に触れ現代アートの面白さと美術館への親しみを感ずる機会を提供する目的で始めたプログラム。動画とこどもガイド以外に参考資料として、先生向けのガイドプランを日英で制作・提供した。予想を上回る申し込み数で、事後アンケートからも先生・生徒から草間さんへの関心の高さや、美術館へ行ってみたいという声など好評だった。インターナショナルスクールの参加は1校に留まった。

申込	申し込み期間	参加小学校/人数
第一期	10月2日(月)～10月31日(火)	27校/2,490人
第二期	11月1日(水)～11月30日(木)	9校/411人
		計 36校/2,901人

こどもガイド vol.1

概要：芸術家草間彌生の活動について絵本形式でイラストとテキストで紹介

対象：小学生

仕様：A4 サイズ・二つ折り・カラー



Kids Guide vol.1 裏表紙・表紙

こどもガイド vol.2

概要：草間作品の代表的なモチーフのひとつ「水玉」を取り上げ、多様に展開する作品を紹介

対象：小学生

仕様：A4 サイズ・観音開き・カラー



こどもガイド vol.2 裏表紙・表紙

新 [障がい者対応プログラム トライアル実施]

障がい者対応プログラムを開発するため、近隣の施設「シャロームみなみ風」と相談・連携し、鑑賞プログラムのトライアルを初めて行った。①軽度障がい者グループ、②車いす及び重度障がい者グループを各2回に分けて計4回実施。①軽度障がい者グループは当館スタッフが進行し、適宜対話をしながら各階を鑑賞した。②車いす及び重度障がい者グループは移動に配慮しながら、各階を自由に鑑賞した。両グループ共に屋上ギャラリーで記念撮影を行ったが、絵を描くことが好きな参加者も多く、施設スタッフの方からも大変喜ばれた。この経験をもとに具体化を検討する。

実施日	時間	参加者 人数
2024年 3月5日 (火)	60分	① 利用者 (8名) ② 利用者 (9名)
13日 (水)	60分	① 利用者 (6名) ② 利用者 (5名)
計4回		利用者 28名



参加者の様子

3. その他の実施事業

○草間彌生に関する作品や資料の収集・保存および調査・研究

作品・資料の収集

作品の収集

関連資料の収集

関連書籍等の収集

作品や資料の保存

作品や資料の保存管理

作品や資料のデジタルアーカイブ（計画段階、草間スタジオで先行作業を実施）

作品や資料の調査・研究

作品・展示解説を掲載した図録の制作・発行と、関連機関への寄贈

作品に関する評論等の調査・研究

4. 著作権の管理

○権利者の利益はもちろんのこと、社会全体の文化創造の活力が損なわれることのないよう、草間彌生の著作権情報の窓口として株式会社草間彌生と協働して管理業務を行う。

・商標登録

日本

海外

・著作権侵害案件の対応

日本

海外（贋作などの取り下げ対応、NFT詐欺まがいの事件対応など）

・ライセンス事業

5. その他、財団の目的達成のために必要な活動

○その他、財団の目的達成のために必要な活動

[ミュージアムショップの管理・運営、プロジェクトのMD事業部への移管]

ミュージアムショップの運営状況を検証し、来館者の満足度向上および美術館収益拡大に注力した。さらに草間グッズのマーチャンダイジングを強化するために検討した結果、本事業を(株)草間彌生 MD 事業部へ移管するための準備を行った。

グッズアイテム

・オリジナル

展覧会カタログ・ポストカード3点1セット

ハンカチ（2種類・各3バージョン）

お菓子（2種類 プチ・ゴーフル缶、プチ・シガール缶）

- キャンディ
- スカーフ (2種類)
- トートバッグ
- ステッカー (2種類)
- ・草間スタジオ卸グッズ
- パンプキンオブジェ (2種類)
- パンプキンパース

[全国美術館会議の研修へ参加・ネットワーク形成]

2020年入会后、美術館同志の連携やネットワーク形成を通じ、情報交換や研修参加による知見の共有をはかり、美術館活動に反映している。

[博物館登録完了後の東京都との情報連絡]

東京都教育委員会へ博物館登録は2022年3月に完了し、引き続き登録博物館としてのガイドラインに則り運営した。東京都から博物館登録に関する規則改正に伴う情報提供への対応を行う。

II. 庶務の概要

1. 役員

令和6年3月現在

代表理事	草間 弥生
業務執行理事	建畠 哲
	草間 祐輔
	島 敦彦
	中森 康文
	林 知一
	松本 透

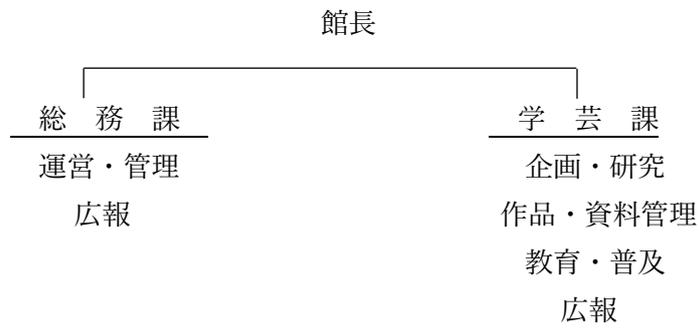
7名

評議員	伊東 正伸
	塩田 純一
	渋谷見 彰
	平野 到
	前山 裕司
	南 雄介

監事	鷲田 めるろ	7名
	大森 京太 加登屋 健治	2名

2. 組織図

令和6年3月現在



以上